

Keywords 画像処理, 動画処理, 領域抽出, 画風変換, 画像修復

01 本研究の適用分野・用途

- 新たな芸術表現『立体鉛筆画』
- 絵画の仮想修復
- 画像・動画の領域抽出
- 画像解析

02 アピールポイント

本研究シリーズの特徴は、対象が画像または動画であるため、多くの分野と融合でき、さらに、その成果・効果を視覚情報として発信しやすい点である。また、画像処理技術の多くが成熟しているため、安定した技術を用いてニーズに対応できる。

研究概要

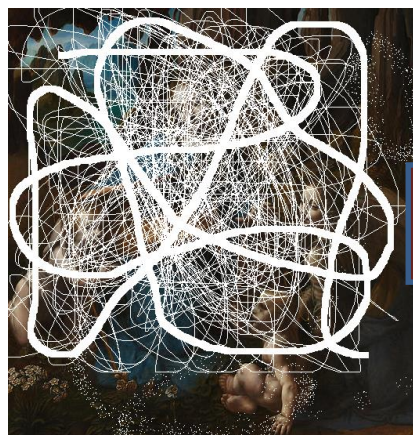


図1：劣化した絵画モデルの修復



図1では劣化した絵画モデルを違和感なくデジタル修復している。この技術は絵画だけでなく、写真の傷や動画のノイズへも応用できる。



図2：VR動画から立体鉛筆画を作成

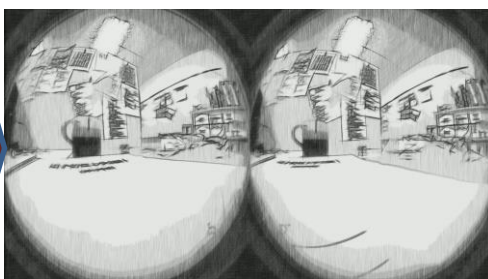


図2では視差動画から鉛筆画を生成している。本画像は平行法やVRゴーグルで見ることで、立体鉛筆画というユニークな芸術表現になる

